



長崎大学は只今、変身中

私は最近よく市民の方々から「長崎大学は変わりましたね」という言葉をいただきます。大変嬉しく、そして励まされる言葉です。世界の構造変換が怒濤のごとく進行する現在、将来の日本を背負い世界に貢献する若者たちを育てるためにも、地域のアカデミアとして長崎の発展に貢献するためにも、長崎大学も大きく変身しなければならないのです。

例えば大学病院です。建物の改築とともに患者さんへのサービスを格段に改善すべく教職員が一丸となって努力しています。一度、覗いてみてください。前よりはるかに患者さんに優しい病院に変身しているはずです。

また、地域のアカデミアとして、長崎市民に開かれた大学に変身しようと努めています。大学を教職員と市民の皆さんがともに学び、考え、発信する場にしたいのです。昨年末は、寺島実郎さん監修の下、市民公開リレー講座「世界の構造変換と日本の進路」を6回にわたって長崎大学で開催しました。毎回、多くの市民の皆さんの参加を得て、熱気あふれる会となりました。寺島さんと長崎市民そして大学教職員が、“全体知”を共有し、世界の中での長崎の役割を熱く語り合ったのです。

そして、大学の教育も大きく変わる必要があります。先ず、本年4月から工学部が変わります。工学基礎力を十分につけた上で応用力のある専門技術者を目指してもらうために、7学科を1学科にまとめ、新しい教育がスタートします。全国でも初めての試みです。将来、地域や日本の産業を背負い、世界に“ものづくり力”で貢献しようという大志ある若者たちを、長崎大学工学部は待っています。

平成二十三年 睦月



| CONTENTS |

【特集1】 新工学部宣言！	1
【特集2】 長崎県の植物 ～その多様性をさぐる～	8
【いたか放題】 水産庁 漁政部加工流通課 課長補佐 上田 勝彦さん	12
【グラバー図譜】 シロシュモクザメ	14
【現場に飛び出せ！躍動するフィールドワーカーたち】 第3回「文化」継承の現場へ	16
【温故知新】 第2回 時計塔と大壁画	19
【長大ニュース】	20
【インフォメーション】・【編集後記】	21